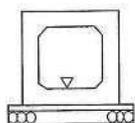
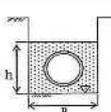
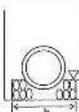
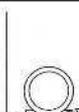
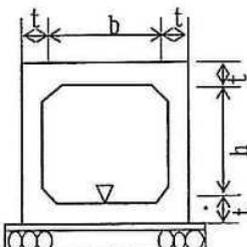
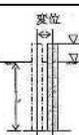


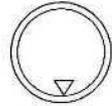
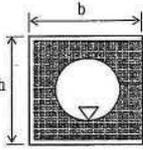
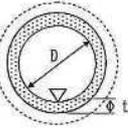
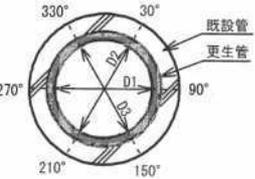
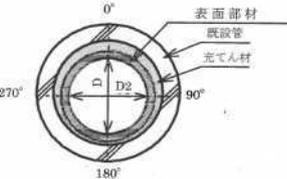
第8編 下水道編

出来形検査基準規格値 (単位mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
第8編 第1章 下水道編	8-1-1 管路掘削	深さ h	±30	施工延長200mにつき1箇所以上測定。			
		幅 B	-50				
	8-1-1 管路埋戻	基準高▽	±30	施工延長200mにつき1箇所以上測定。			
	8-1-2 管布設 (自然流下管)	基準高▽	±30	基準高、中心線の変位(水平)は、施工延長100mにつき1箇所以上測定。 延長は、施工延長100mにつき1箇所以上測定。 延長はマンホール間を測定。	 		
		中心線の変位(水平)	±50				
		勾配	設計勾配±20%				
		延長 ℓ	- ℓ /500 か -200				
		総延長 L	-200				
	8-1-2 短形渠 (プレキャスト)	基準高▽	±30	基準高、中心線の変位(水平)は、施工延長100mにつき1箇所以上測定。 延長は、施工延長100mにつき1箇所以上測定。 延長はマンホール間を測定。			
		中心線の変位(水平)	±50				
		勾配	設計勾配±20%				
		延長 ℓ	- ℓ /500 か -200				
		総延長 L	-200				
	8-1-2 圧送管	基準高▽	±30	施工延長100mにつき1箇所の割合で測定する。			
		中心線の変位(水平)	±50				
		総延長	-200				
	8-1-3	砂基礎	基準高▽	±30	施工延長100mにつき1箇所の割合で測定する。		
			幅 B	-50			
厚さ h			-30				
碎石基礎		基準高▽	±30	施工延長100mにつき1箇所の割合で測定する。			
		幅 b	-50				
		厚さ h	-30				
コンクリート基礎		基準高▽	±30	施工延長100mにつき1箇所の割合で測定する。			
		幅 b	-30				
		厚さ h	-30				
まくら土台基礎		基準高▽	±30	施工延長100mにつき1箇所の割合で測定する。			
はしご胴木基礎		基準高▽	±30	施工延長100mにつき1箇所の割合で測定する。			
	幅 b	-30					
	厚さ h	-30					
8-1-4 現場打水路	基準高▽	±30	基準高、中心線の変位(水平)は、施工延長100mにつき1箇所以上測定。 延長は、施工延長100mにつき1箇所以上測定。 延長はマンホール間を測定。				
	中心線の変位(水平)	±50					
	幅 b	-30					
	高さ h	±30					
	厚さ h	-20					
	勾配	設計勾配±20%					
	延長 ℓ	- ℓ /500 か -200					
総延長 L	-200						
8-1-5 鋼矢板土留	基準高▽	±50	施工延長100mにつき1箇所の割合で測定する。 100m未満は、1施工箇所につき2箇所測定する。				
	根入長 L	設計値以上					
	変位	100					

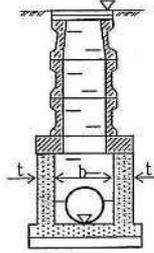
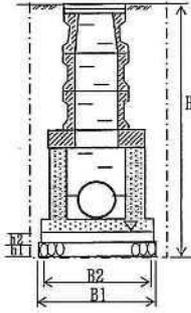
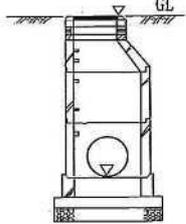
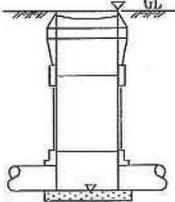
第8編 下水道編

出来形検査基準規格値 (単位mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要	
第8編 下水道編	第2・3章 小口径推進工・推進工	8-2-1 推進工	基準高▽	±50	基準高、中心線の変位(水平)は、施工延長100mにつき1箇所以上測定。		
			中心線の変位(水平)	±50			
			勾配	設計勾配±20%			
			延長 ℓ	- ℓ/500 かつ -200	延長は、施工延長100mにつき1箇所以上測定。 延長はマンホール間を測定。		
			総延長 L	-200			
	8-2-2 空伏工	基準高▽	±50	基準高、中心線のずれ、延長は、施工延長100mにつき1箇所以上測定。 延長はマンホール間を必ず測定。			
		幅 b	-30				
		高さ h	-30				
		中心のずれ	±50				
		延長	-50				
勾配	設計勾配±20%						
第4章 シールド工	8-4-1 掘進工	基準高▽	±50	基準高、中心線の変位(水平)は、セグメント200リングにつき1箇所測定。			
		中心線の変位(水平)	±100				
		延長 ℓ	- ℓ/500 かつ -200	延長ℓはマンホール間を測定する。			
	総延長 L	-200					
	8-4-2 二次覆工	基準高▽	±50	基準高、中心線の変位(水平)、二次覆工厚、仕上がり内径は、施工延長100mにつき1箇所以上測定する。			
		中心線の変位(水平)	±50				
		二次覆工 t	-20	二次覆工厚は、上下左右4点を測定する。			
		仕上がり内径 D	±20				
		勾配	設計勾配±20%				
	延長 ℓ	- ℓ/500 かつ -200	延長ℓはマンホール間を測定する。				
総延長 L	-200						
第5章 管渠更生工	5-3-1 管きよ内面被覆工 反転・形成工法	仕上がり内径 D	6箇所の平均管厚が呼び厚さ以上で、かつ上限値は+20以内とし、測定値の最小値は設計更生管厚以上とする。	1スパンの上下流管口のいずれか一方で測定する。 それぞれ更生管円周上の6箇所で測定する。			
		更生管厚					
	5-3-2 管きよ内面被覆工 製管工法	仕上がり内径(高さ・幅)	平均管厚が設計更生管厚を下回らない。	1スパンの上下流管口のいずれか一方で測定する。 それぞれの更生管の内側中央高さと幅の2ヶ所で測定する。			

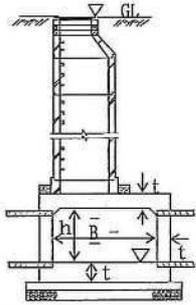
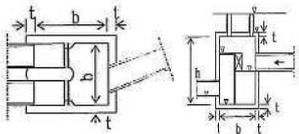
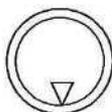
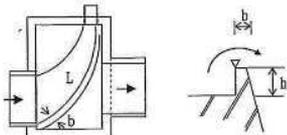
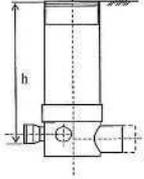
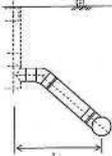
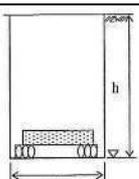
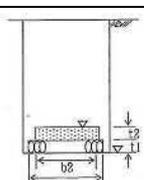
第8編 下水道編

出来形検査基準規格値 (単位mm)

番 号	工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
第8編 第6章 下水道編 マンホール工	8-6-1 マンホール工 (現場打ち)	基準高▽	±30	5基につき1箇所以上測定。 基準高は、マンホール輪の天端高とする。		
		幅 b (内法)	-30			
		壁 厚 t	-20			
		人孔天端高	±30			
	マンホール基礎工 (現場打ち)	基準高▽	±30	5基につき1箇所以上測定。		
		床掘深 H	±30			
		基礎工幅 B1	-50			
		基礎工高 h1	-30			
		コンクリート工幅 B2	-30			
コンクリート工高 h2		-10				
8-6-2 組立マンホール工		基準高▽	±30	5基につき1箇所以上測定。 基準高は、マンホール輪の天端高とする。		
		人孔天端高	±30			
8-6-3 小型マンホール工		基準高▽	±30	5基につき1箇所以上測定。 基準高は、マンホール輪の天端高とする。		
		人孔天端高	±30			

第8編 下水道編

出来形検査基準規格値 (単位mm)

番号	工種	測定項目	規格値	測定基準	測定箇所	摘要
第8編 第7章 下水道編 特殊マンホール工	8-7-1 現場打ち特殊人孔	基準高▽	±30	5基につき1箇所以上測定。		
		幅 b	-30			
		高さ h	±30			
		壁厚 t	-20			
		人孔天端高	±30			
	8-7-2 伏せ越し室・雨水吐室工	基準高▽	±30	5基につき1箇所以上測定。		
		幅 b (内法)	±30			
		高さ h	±30			
		厚さ t	-20			
	8-7-3 伏せ越し管工	基準高▽	±30	5基につき1箇所以上測定。		
		中心線の変位	±30			
	8-7-4 越流堰 (雨水吐室)	基準高▽	±10	基準高は、中央部および両端部を測定する。 幅、高さ、延長は、5施工箇所 所に1箇所以上測定する。		
		幅 b (厚さ)	±20			
		高さ h (深さ)	±30			
延長 L (長さ)		-20				
中継ポンプ施設	基準高▽	±30	5基につき1箇所以上測定。			
	幅、長さ B	-30				
	深さ h	-30				
	壁厚 t	-20				
第8章 取付管及びます工	8-8-1 公共ます	ます深 h	±30	5基につき1箇所以上測定。		
	8-8-2 取付管	延長 (L)	-200	5基につき1箇所以上測定。		
第11章 立坑工	8-11-1 立坑工	基準高▽	±30	5基につき1箇所以上測定。		
		寸法 B	±100			
		深さ h	±30			
	8-11-2 立坑土工	基準高▽	±30	5基につき1箇所以上測定。		
		砕石基礎幅 b1	-50			
	砕石基礎厚 t1	-30				
	底版コンクリート基準高	±30				